

平成19年
5月5日号

No.81

●毎月5・15・25日発行

広報かもがわ

- 編集発行・鴨川市総務部企画財政課
広報広聴係
- 電話・04(7093)7842
- FAX・04(7093)7850
- 住所・〒296-8601 鴨川市横渚1450
- ホームページ
<http://www.city.kamogawa.lg.jp/>



いつ発生するかわからない自然災害

一人ひとりの防災意識と 地域の協力を被害防止に

「自分の命は自分で、自分たちのまちは地域ぐるみで守る」。災害による被害を最小限に抑え、市民の生命・身体・財産を守るために、防災関係機関の連携や地域の協力はもちろん、市民一人ひとりの防災意識が大切です。

家庭でできる事
前の災害対策として、避難場所・避難経路をはじめ、安否の確認方法や家具の転倒防止策、非常持ち出し品など、家族皆さんで話し合いましょう。

さらに、自主防災組織や消防団など地域の協力も必要です。日ごろから地域のコミュニケーションを図りながら、災害時の活動方法や地域の危険場所の確認、高齢者・障害を持つ方などを要援護者への安全対策について、地域にあった防災活動・組織づくりをまちぐるみで考えましょう。

新しい地域防災計画をより有効に活用するために、どうぞ、皆さん、ご協力ください。



めざせ！日本一安全で安心なまち

春の全国交通安全運動 5月11日から20日まで

「油断せず、いつも心に 初心者マーク～交通ルールとマナーを守って事故のない鴨川市～」。春の全国交通安全運動が、5月11日から20日まで行われます。期間中は、高齢者や子どもの交通事故防止、シートベルトの着用徹底などを重点目標に指導・取り締まりを強化します。ドライバーの皆さん、交通ルールを守り、悲惨な交通事故を未然に防ぎましょう。なお、これから行楽シーズンを迎えます。この時期は、車上狙いなどの被害も多くなります。車を離れるときは、必ずロックをするなど盗難防止に心掛けましょう。万一、被害に遭った場合は、すぐに**110番通報**してください。

■平成18年中の交通事故人身事故（カッコ内は前年比）
 ▷発生232件（-12件）、△負傷者310人（-3人）、△死者数3人（-4人）

■予防計画
「風水害等編」と「震災編」の『予防計画』では、大地震による災害をはじめ、集中豪雨による水害・土砂

新しい地域防災計画は、地震や豪雨、津波などによる災害をより具体的に想定し、予防対策や災害時の応急対策、復旧計画を示したもので「総則」、「風水害等編」、「震災編」、「震災編附編」、「資料編」の5編で構成されています。

この計画は、平成17年のアセスメント調査から始まり、県や防災関係機関との検討・協議を重ね、3月に開催された市防災会議で作成したものです。主な内容は次のとおりです。

自主防災組織やボランティアの育成・強化も 災害を想定した予防・応急対策や復旧計画

■基本方針・被害予測

「総則」では、災害予防対策や災害応急対策、災害復旧・復興対策などについての基本方針を定めています。

「能登半島地震」や「三重県北部地震」など、ここ数か月で立て続けに発生している大規模地震。このような災害が、いつ私たちのまちを襲うかわかりません。そこで市では、海岸線や山間部、市街地など地域の特性や災害の状況にあつた新しい「地域防災計画」を策定しました。この計画は、風水害や地震災害の各段階に応じた予防対策や対応策などを具体的に示したものですが、被害を最小限に抑えるには、この計画の活用はもちろん、国・県など関係機関の連携や市民一人ひとりの防災意識、地域ぐるみの取り組みが大切です。災害に強いまちづくりに、どうぞ、皆さん、「協力ください」。

とじて保存しましょ



必ず確認を

地域の防災マップ 5月中に各家庭へ配布

■災害に対する行動基準

「震災編附編」は、東海地震注意情報や東海地震予知設・運営などを定めています。



迅速な避難誘導を展開

市ホームページで閲覧できます。問い合わせは、市役所1階の市政情報コーナーや各出張所・公民館、市ホームページで閲覧できます。問い合わせは、市役所4階の消防防災課（☎（7093）7833）へ。

※詳しくは5月下旬から、東海地震注意情報発表、警戒宣言発令時の行動基準を具体的に挙げています。

5月27日(日)は「ごみゼロ運動」

「ごみゼロ運動」が5月27日(日)に市内全域で行われます。当日は、集めたごみを「ボランティア袋」に入れ、午前10時までに国・県道やバス路線沿いの集積場所へ出してください。ごみ袋の配布場所など、詳しくは市環境課（☎（7093）7838）へ。